

2022年11月14日

株式会社 電通グループ

代表取締役社長執行役員 CEO 五十嵐 博
(東証プライム市場 証券コード: 4324)

当社個別決算における関係会社出資金評価損の計上に関するお知らせ

株式会社 電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員 CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下「当社」）は、2022年度第3四半期（2022年1月1日～2022年9月30日）個別決算（日本基準）において、当社が保有する子会社出資金について減損処理を実施し、関係会社出資金評価損を計上しますので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 個別決算（日本基準）における関係会社出資金評価損の内容

2022年度第3四半期の当社個別決算において、子会社であるGlobal Sports Investmentsへの出資金について評価を行った結果、帳簿価額に対し、算定した実質価額が著しく低下したと認められたことから、関係会社出資金評価損32,309百万円を、損益計算書の特別損失に含めて計上しました。

Global Sports Investmentsは、スポーツに関連するデジタルコンテンツの配信事業等をグローバルに展開している、非上場会社であるDAZN Group Limitedへの投資を行っています。

DAZN Group Limitedは、近年コロナ禍による世界各地でのスポーツイベントの一部制限・中断の影響を受けましたが、引き続き着実にその事業を推進し、事業の拡大が続いています。しかしながら、Global Sports Investmentsは、DAZN Group Limitedの株式価値の評価に、インカム・アプローチ（上場している類似企業の株価を参照するマルチプル法により永續価値を算定したDCF法）を採用していることから、この度、投資市場環境の低迷に伴い大幅に低下した類似企業の株価水準を、同社の株式価値評価に反映することになりました。これを主な要因として、算定した同社の株式価値、および当社が保有するGlobal Sports Investmentsに対する出資金の実質価額が著しく低下したことから、当社は当第3四半期に「関係会社出資金評価損」を個別決算において計上することとなりました。なお、DAZN Group Limited株式は非上場株式であり、今般の特別損失の計上は当社が独自に行って現時点において合理的と判断した同社株式の価値評価に基づくものであって、今後の第三者による評価および同社株式価値の増減を示唆するものではありません。

2. 連結決算（IFRS）に与える影響

当該関係会社出資金評価損は、連結決算上消去されるため、連結損益計算書への影響はありません。また、Global Sports Investmentsが保有するDAZN Group Limitedの投資の評価損も、連結決算上「その他の包括利益」として処理されるため、連結損益計算書への影響はありません。

以上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、杉浦、松永

Email : group-cc@dentsu-group.com

株式会社電通グループでは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。